こどもがしるべき

テサロニケへの

テサロニケへのは、パウロがテサロニケにったのです。また、のので、にかれたです。

テサロニケは、パウロが２のときに、マケドニヤではじめてピリピをたてた、２つにたてたです。ヤソンというひとりのからはじまったで、がたてられるようになりました。ところがそのとき、ユダヤのがおこったので、パウロはそこをてくしかなくなってしまいました。そのため、からチームのテモテをわりにって、テサロニケをずっとけけました。

パウロは、テサロニケへのをして

１つ、テサロニケののをにして、ほめました。

２つ、にしてしていたテサロニケのにしいをえました。

キリストのは、くるので、にをましてしているべきであり、のでもしなければならないことをしました。

パウロのチームとヤソンのいによって、ひとつのからはじまったがテサロニケになって、のえになりました。７には、テサロニケのように、にもあるとのい、とたちのをしてされるをえながらするレムナントになりましょう。